

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・6月1日から、taspoカードが導入されたが、カードの加入率が低く、身近なタバコ屋や自販機に買いに行けなくなる人が増えているという先行地区の動向が報告されている。皆、コンビニの店頭で買いに来ており、数年に一度のビッグウェーブである。また、廃業するタバコ屋も増えており、今の時点でカートン買いや特殊なタバコの予約が入っている。売上は前年比125%、来客数は前年比116%と好調である。	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・当店は春先が売上が一番良い。何とか今のところは客単価も高くなっている。	
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・全国の百貨店において、紳士、婦人、アパレル業界は厳しい状況にあるが、信州は非常に好調に推移している。顧客にDMを出し、得意客の来店もある。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・観光シーズンで来客数が増えている。値上げしたにもかかわらず、通常の地元客の来店数が落ちないでいる。	
	変わらない		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	来客数の動き	・月の半ばに中だるみが生じたが、ゴールデンウィーク、月末、週末の深夜帯を中心に、来客数が増えている。ある程度安くて近くて気楽にレジャーを楽しむ人が増えている。
			一般小売店 [精肉]（経営者）	お客様の様子	・当地で行われている全国緑化フェアも終着に近付いている。各会場は各地よりの団体客で一杯になっている。また、市内の商店街も協賛しているのでこの効果は上がっている。ただそれらの周辺は何もないように活気は見られない。そのため変化はない。
			百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・来客数は前年を上回っているにもかかわらず、実績を確保できている商品群は食料品だけである。必要な物以外の出費は極力抑えようとする生活防衛意識が依然として強い。
			コンビニ（経営者）	お客様の様子	・売上は前年をクリアしているが、客の購買力に活気がない。
			コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月キャンペーンを実施し、大分売上を伸ばすはずであったが、キャンペーンを始めても通常とあまり変わらない状態で推移してきた。客もキャンペーンがあつて来てくれている状況である。
			観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークの特定日のみが混雑し、その他は相変わらず思わしくなかった。
旅行代理店（副支店長）			お客様の様子	・海外旅行は燃油サーチャージや四川大地震の問題があり、団体客はもちろん個人客にも影響が出ている。国内はほぼ例年と同じ程度の受注や相談がある。	
タクシー運転手			販売量の動き	・ガソリン、食料品等の値上がりにより、一般客、法人共に余分な支出を抑える傾向が続いている。特に夜間の営業収入は一向に改善しない。昼間の定期的な通院利用者で何とか食いつないでいる。	
タクシー運転手			お客様の様子	・今月は料金値上げ等で利用客が少なくなると思っていたが、今月に限って言えば料金値上げ分の約10%くらい売上が伸びた。	
ゴルフ場（従業員）			来客数の動き	・来客数の動きに関しては依然横ばいでほとんど変わらない状況である。	
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・先日建築士会、事務所協会の幹部との話し合いを持ったが、いまだかつてない受注量とのことであった。当社のみならず全体が不況にあえいでいる。			
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・地価は現在、底を打ったと言われているが、場所によっては下落を続けている。客の動きから判断すると、条件に合うものが出てくるまで待つ傾向がある。よって、需要が伸び悩んでいる。			
やや悪く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・路面店の売上がひどく悪化している。特に郊外店の路面店が悪い。登山用品を学販しているが、他人の物を借りていく人が増加している。		
	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中の街中は平日よりガラんとして休日の面影は全くない。しかもそれ以降は、更に客入りが悪くなっている。		

一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・来客数、修理依頼等の電話共に先月に比べ減少している。チラシ等を持参しても留守が多い。共稼ぎ世帯が増えて、単純に収入は増えているのではと思われるのだが、生活必需品の消費に精一杯の様子である。
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・数年前と比べて極端に来客数が減り、店売りだけではとても生計が立たない。
百貨店（総務担当）	単価の動き	・チラシで見た超目玉商品しか購入しない客が増え、限度制限一杯に購入して、期間中の品切れが目立つようになっている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ガソリン高騰や食材の値上げ等により、消費者の購入意欲が薄れている。婦人、紳士、子ども服等衣料品の売上が極めて悪く、食品のみ堅調な数字で推移している。特に法人、外商関係で需要が非常に低下している。
スーパー（統括）	販売量の動き	・価格据置きを実施している小麦粉、ラーメン、マヨネーズ等のプライベートブランド商品の月次販売量、販売高が共に過去最高を更新中であり、消費者の価格に対する敏感さと、慎重な買物姿勢がうかがえる。
衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・5月の連休ということ、街に人が出てくるかと期待していたが、天気のこともあるかもしれないが非常に人の出が悪く、まばらな街の中だった。そのようなこともあり、来客数が伸びない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・揮発油の値段高騰に伴い、あらゆる関連物資の値上げがかなり家計に響き、車の購入にはとても至らない。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社は輸入車の販売であるが、競争相手の国産のディーラーによると、全く新車が売れない、ということである。とにかく新車に関しては売行きは鈍っている。
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・月の前半はゴールデンウィークもあり、前年より多少良かったが、後半になり販売量が落ち込んだ。特にランチタイムのサラリーマンやOLの来店数が落ち込んでいる。
スナック（経営者）	来客数の動き	・連休明けから夜間の人出が一段と少ない。フリー客は3年前の2割ほどしかない。ここに来て宴会の動きも悪くなってきていて、先行きが不安である。
観光型ホテル（スタッフ）	それ以外	・原油価格の急激な高騰は、当館のような公共の交通機関のみで来る事が難しい地域にとって少なからず影響がある。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・来客数が以前より減少している。会社の資金面及び個人の懐具合が悪くなっているという理由で、ホテルの利用が減っている様子が見受けられる。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間は婚礼はもとより、宴会部門でも企業ニーズがめっきり減り、ビジネスでの宿泊客も激減した。また、この地域はさびれかけた地方都市で観光地とは異なるため、非常に厳しい。5月中旬からは高等学校のPTA関連や団体の総会などの需要が増えてはいるが、ゴールデンウィーク中のマイナス要因を埋めるまではいかない。宿泊部門も近隣に開業した最大手のビジネスホテルチェーンの影響がじわりと効いてきている。
旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・個人の客についてはそれほど落ち込みはないが、法人関係の団体、特に社員旅行などが非常に厳しい。客が、予定の月でもなかなか決め切れなかったり、会社の業績のため先延ばしにすることがあり、数字が落ち込んだ。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・毎月のように発表される各種生活必需品の値上げの影響は非常に大きい。関心は今後「生活がどうなるか？」であり、新しい物、便利な物には関心が向かない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・物価の上昇からか、購買に対して消極的でオリンピック効果等でのテレビの購入などの動きは無く、様子を見ているようである。
ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・価格競争の激化によって、客単価が下落している。

		美容室（経営者）	販売量の動き	・近所に千円カットの店が軒並み増えており、カットをそこで済ませ、残りの部分を一般の美容院ですという状態である。女性客にも床屋に行くような傾向が見られる。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・5月に戻ると思われた在庫量が3%減少した。4月から仕入部品が15%以上値上げし、工賃に載せられない状態で5%の売上減となった。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・仲介業者も、自社で分譲をやっている業者も最近では売行きが悪く、売出しを行っても来客数が少ない。良い場所の安い物件があれば、すぐに売れるがなかなかそのような物件はない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・特に分譲住宅の現場見学会への新規来場者が減少している。
悪く なっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街のイベントでは前年以上の人出でにぎわっていたが、商店街の店で買い物する人はかなり少ない。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数が減っている結果、売上も下がっている。食品中心に集客を図っているが、限定数商品等の広告の目玉商品のみ買い、他店へ買い回りをする客が非常に増えてきており、全体で伸ばすことが非常に厳しい状況である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に下がり続けている。客は、商品の購入に対し、より慎重に吟味する傾向が顕著である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・連休明けに雨や寒い日が多く、夏物の動きが悪いため、前年比で来客数が30%、販売が20%減少した。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・生活必需品をそろえるだけで家計が一杯である。そういう意味もあり、客が出てこない。出てくれば欲しいという欲求が出てくるから、それを抑えている。一握りの人は経済環境に影響されないが、それがあまりにも少なすぎる。全体として相当冷え込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数が36年前のレベルまで落ち込んでしまった。これにより不採算拠点の閉鎖も視野に入れざるを得なくなっている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子は鈍っている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客の減少が続いており、市内も活気が無く飲食店の閉鎖が多くなり、町の暗さに拍車をかけている。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・老舗のホテルが3月に撤退する等、市内のホテル旅館組合の会員が40数件あったのが、今年になって30数件になってしまったという非常に厳しい現状にある。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・毎年社員旅行を実施していた会社が、今年は減収を理由に旅行を中止にした。他の客も、ガソリンの高騰により経営が相当圧迫されている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・4月と同様、昼も夜も動きが悪く前年同月と比べて4%の減少となった。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・月の上旬に関しては予約が順調であったが、5月半ばから後半にかけては予約が全く停滞してしまっている。燃料費の高騰により、県外の来場者が少ない。	
	設計事務所（経営者）	それ以外	・建設資材の値上がり等で、設備投資が停滞している。また、ガソリン、生活資材等の値上がりで不安感がある。	
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている			
	変わらない	窯業・土石製品 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年比で見ると、長年続いていた大口の特注受注が無くなり、大変厳しい状態であるが、一般店頭商品受注に関してはここ数か月低水準ながらも平均して動いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は相変わらず、受注が安定せず、厳しい状況が続いている。今まで好調だった加工系の会社にも減速感が出ている様子がうかがえる。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・この2、3か月の受注価格、取引先の様子、受注量等は良い方の横ばいで、変わらない。	

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・物量の確保は例年よりやや良い状態である。自社の足りない部分を協力会社等にお願ひし、車両の確保も問題なく行える状態である。ただし、近隣エリアについては問題ないが、遠方等の燃料負担が多いところに関しては探しにくい状況である。
やや悪くなっている		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の仕事量がかかなり少なくなっている。無駄なものは作らない傾向がある。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・新規案件の引き合いはあるが、建設機械、油圧機器向けに関して年当初に比べて数量が減少してきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は6月期の決算であるが、去年の7月からの売上推移を見ると、今年の4月が最低、5月も横ばいであり、段々と景気が冷えてきている。
		金融業（店長）	受注価格や販売価格の動き	・原油高により、ほとんどの業種へ影響が出ている。小売価格への上乗せがなかなか出来ないというのが悩みのようである。
		社会保険労務士	取引先の様子	・原材料高による採算の見直しにより、業務量が縮小傾向にある。更に進むと人員整理になりそうな状況である。
悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が極めて悪い。建築確認申請の遅れで、建設業、関連設備業、鉄の加工業等が悪く、当社製品の出が悪い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メイン客先の動向が、4月からの新年度において3月の駆け込み生産、4月からの受注減により生産計画の縮小傾向が続いている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油高騰に伴って、ガス、電気の価格が上がってきている。一方、販売価格については価格転嫁が非常に難しくなっている。したがって、収益が大幅に悪化した。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・極端に売れなくなっている。関西での大型の卸展示会でも受注は大幅減である。変わった物を探す客は多いが、結局仕入れにつながらない。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・県の公共工事事業は、4月の1か月間の事業ストップにより、事業計画が遅れている。そのため公共工事主体の当社にとって影響は大である。相変わらず建設業の倒産や廃業が後を絶たない。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・業種によって異なるが、求人企業数は前年と変わりなく感じるものの、求人数については増加してきている。特にコンピュータ技師に関しては雇用状況は非常に良い。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・派遣先企業が現在12、13社あるが、忙しい会社が少ない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・これから夏シーズンに向けて、パート、アルバイト、小売業の募集は多くなるものの、正社員の募集は少なく、全般的に景気は良くない状態である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・最初の採用試験はピーク時期を過ぎたが、引き続き採用活動をする企業もある。しかし、景気動向の不透明さから当初の予定より厳選を強めたり、職種に求める能力の幅を広げたりしながら枠を縮める企業も出始めている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人の動きの中には、これからだと夏物商材等の販売員、ギフト商品等のこん包作業等の要員募集が目立つ。生産関連では電気、機械、電子の動きが鈍っている。住宅関連では原油価格の高騰等もあって、生産の動きは落ちている。
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・人材派遣業界は、企業の正社員率アップと、格差競争のマイナス影響がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告の売上は、前年度より約10%落ちている。また、ゴールデンウィークの来客数が前年比10%減っているテーマパークもある。周辺ではホームセンター、アウトレット等のオープンを控えているが、その割りに人が動かない。今一つ低迷している。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は前年同月の8.3%減、有効求人は同22.9%減であり、有効求人については11か月連続して前年同月を下回り、減少幅も拡大してきている。